

れいはいはさいこうのしゅくふく

まいにち  
れいはいは

わたしを あいしてください かみさまに  
さいこうの えいこうを ささげましょう

# ききしたがう ものが うける しゅくふく



いのり \_\_\_\_\_ しかいしゃ

しとしんじょう \_\_\_\_\_ みんなで

さんび \_\_\_\_\_ さんびか 377 ばん (みことばなる) かみさまのおおせのまま (2015 ねんこどもさんび)

せいしよ \_\_\_\_\_ ハガイ 2 章 10~19 節

ハガイ 2:10~19 さあ、あなたがたは、きょうから後のことをよく考えよ。すなわち、第九の月の二十四日、主の神殿の礎が据えられた日から後のことをよく考えよ。種はまだ穀物倉にあるだろうか。ぶどうの木、いちじくの木、ざくろの木、オリーブの木は、まだ実を結ばないだろうか。きょうから後、わたしは祝福しよう。(18~19)

みことば \_\_\_\_\_ ききしたがう ものが うける しゅくふく \_\_\_\_\_ しかいしゃ

神殿の基礎を置こうとしたとき、神様のみことばが、もういちどハガイ預言者に臨みました。きょうより以前に、神殿の石の上に石がひとつも残らなかった時を記憶しなさいと言われました。バビロンという大きな国が神殿を崩して、イスラエルの民は、さまようようになりました。イスラエルは、神様がくださった契約をだんだん忘れられました。礼拝をささげても、心は他のところにありました。バビロンの偶像が良いと言う人さえもいました。

そのとき、民はどんなに努力しても、豊かになることができない災いに苦しみました。神様は、そのようなはずかしいイスラエルの民をとおして、もう一度、神殿を建てると言われました。神殿をたてはじめたきょう、神様はすべての祝福を回復すると約束してくださいました。神様は多くの人の中で、私をまず神の子どもとしてくださいました。私を通して他の人も神様の御腕に入っていくことを願っておられます。きょう、福音のみことばで心に神殿を建て始めれば、私とともにおられる神様を感じられるようになって、幸せになるでしょう。

いのり \_\_\_\_\_ いっしよに おおきなこえで  
いのりましょう

ちちなる かみさま! うまれたときから つみを もっているしか なかった わたしに ふくいんを しらせて  
くださって ありがとうございます。かみさまが わたしを さきに あいして下さり いまも わたしと ともに  
いてくださることを ありがとうございます。わたしに ともちと このよを いかす しゅくふくを くださって  
ありがとうございます。かみさまが わたしと ともにおられる ことを きょうも あじわうことが できますように。  
イエス・キリストの おなまえによって おいのりします。アーメン

しゅのいのり \_\_\_\_\_ いっしよに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう

フォーラム \_\_\_\_\_ きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう

113とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば  
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。



あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。  
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん  
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう

イエスは かれに いわれた。

「わたしが みちであり、

しんりであり、いのちなのです。

わたしを とおして でなければ、

だれひとり ちちの みもとに

くることは ありません。

ヨハネ14しょう6せつの みことば



イスラエルの たみに かみさまの けいやくが うすくなって  
しまった とき バビロンの くにか しんでんを こわしました。  
かみのこどもである イスラエルの たみは バビロンの ほりよに  
なりました。 わたしたちが かならず ところに きざまなければ  
ならない ことは なにか したの みちを さいごまで  
たどって かくにんしましょう。 そして つぎの ページの えと  
じを きりとって はりましょう。

じゅんびする もの： はさみ のり つぎのページ

# イエス・キリスト



はるところ

まことの よげんしゃ

まことの さいし

まことの おう

はるところ

せかいふくいんか



ふろく ★ まえの ページで つかいましょう

せんを はさみで きりましょう



イエス・キリスト



せかいふくいんか



かくしんの ないようを こころに きざみましょう

きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。  
きょうの みことばの もういちど かんがえて したの  
ないようを いっしょに よんで じゅうような たんごを  
なぞって かきましょう。



しんでんの (きそ)を おこうとした とき、

かみさまの みことばが、もういちど  
(ハガイ) よげんしゃに のぞみました。

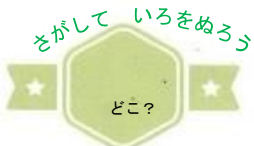


イスラエルは、かみさまが くださった  
(けいやく)を だんだん わすれました。



(かみさま)は  
すべての (しゆくふく)を かいふくすると  
やくそくして くださいました。





かくれている えを みつけたり きれいに いろを  
ぬったり しましょう

かみさまは たくさんの ひとの なかで わたしを まず  
かみの こどもに してくださいました。  
わたしを とおして ほかの ひとも かみさまの みうでの なかに  
はいつて くることを ねがっておられます。  
ふくいんの みことばを ところに うえましょう。  
したの 2つの えの ちがいを みつけましょう。

ちがう ぶぶん： 5つ



いのちの み

いのちの み

レムナントの  
こころの  
かじゅえん

レムナントの  
こころの  
かじゅえん

ふくいんの みことば

ふくいんの みことば



パパとママと いっしょに おはなしして  
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを  
えて ひょうげんしましょう。

パパと ママと いっしょに しんせきに ついて おはなし  
してみましよう。 かぞくが かみさまに であっていない  
ときは どんな くらしだったのか、 しんせきの なかに  
かみさまに であっていない ひとは だれなのかを はなして  
みましよう。 すくわれる ひとの なまえを かいて  
いっしょに いのりましよう。

21

きんようび



たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを  
ところに きざみましょう

かみさまが わたしに くださった みことばを にぎって  
いのりの かだいを かいてみましょう。 かみさまが ねがっておられる  
いのりの かだいは なんでしょうか。  
じっくりと かんがえて かいてみましょう。 そして まいにち いのりましょう。  
したの しゃしんを みて パパとママと いっしょに いのりの はこを つくりましょう

じゅんびする もの : はさみ、のり、えんぴつ (ペン)、つぎのページのえ

# いのりの はこを つくろう



はさみと のり  
えんぴつ (ペン) を  
じゅんびします。



つぎのページと  
そのつぎの  
ページの えを  
きりぬいて  
おもてうらで  
はりあわせませ



あいている  
ところに  
いのりのかだいを  
かきましょう



てんせんで  
おります

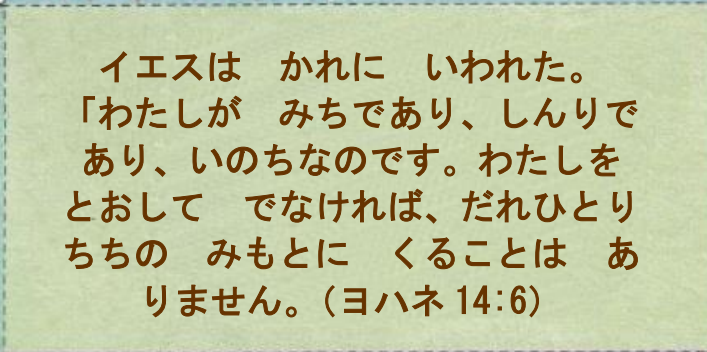
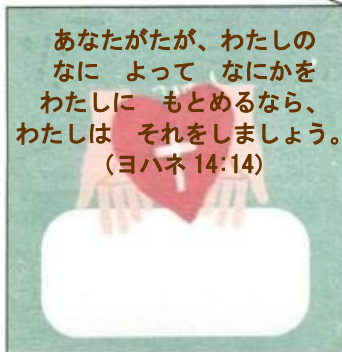
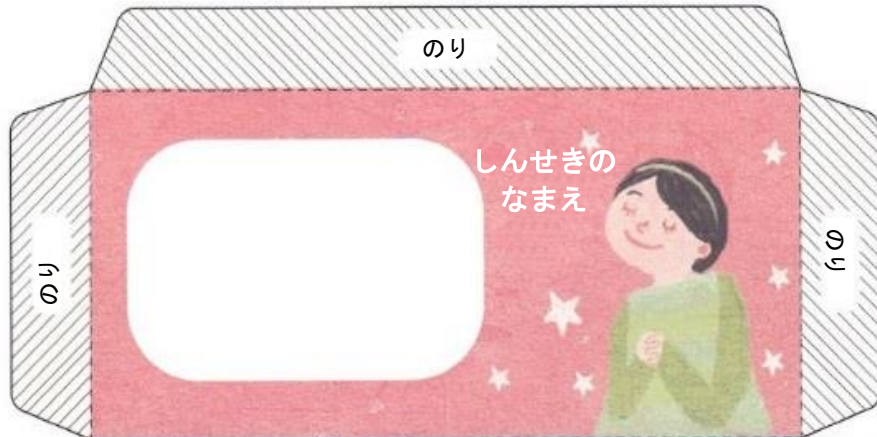


のりつけの  
ぶぶんに  
のりを めって  
めんを  
つなげませ



すてきな  
いのりの はこが  
できました！





まえのページのえと おもてうらを はりあわせて つかいましょう

せんで きりとって つかいましょう

